

あの・なはん

No.81

あの・なはん 盛岡弁で「あのねえ」と呼び掛けることば

「あの・なはん」はボランティアの「あの・なはん編集委員会」が編集しています。担当：男女共同参画青少年対策室 ☎626-7525

高校生世代と
デートDV

あなたの息子さん、娘さん、お孫さんは大丈夫？

■高校生のデートDVの実態は？

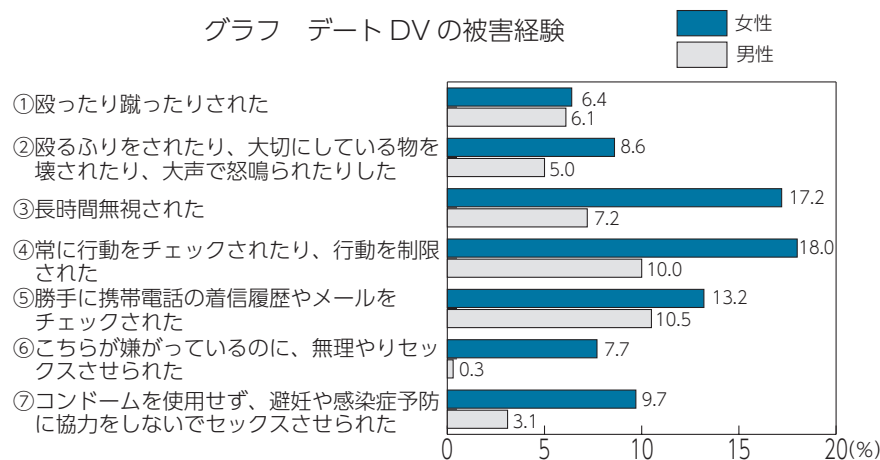
デートDVと聞いて、どんなことを思い浮かべますか。殴る、蹴るの暴力はもちろん、携帯電話の履歴や電子メールのチェック、相手がしたいことより自分とのデートを優先させる、プレゼントを強要するなど、人権を無視した行為もデートDVです。デートDVは男性から女性だけではなく、女性から男性へも起こります。

NPO法人参画プランニング・いわてが県から委託を受けて、平成19年度に県内の3校の高校生967人を対象に「若年層におけるデートDVに関する意識と実態調査」を行いました。

右のグラフは、①～⑦のデートDVの被害に遭った人の割合を表したものです。それによると「長時間の無視」や「行動のチェックと制限」「勝手に携帯電話の着信履歴や電子メールをチェック」などの被害が多く見られます。

デートDV（DVはDomestic Violenceの略）とは、交際中の男女の間に起こる暴力をいいます。県が高校生を対象に実施した「デートDVの実態調査」によると、県内の高校生にもデートDVの被害経験があることが分かりました。なぜ、若者にデートDVが起きるのか、また、恋人や友だちとどうしたら良い関係を築けるのか探ってみました。

グラフ デートDVの被害経験



資料：NPO法人参画プランニング・いわて「大切なわたし 大切なあなた」(24年3月発行)

■デートDVはなぜ起きるのか？そして防ぐためには

デートDVのほとんどは、思春期や青年期に起こっています。なぜ若者の間で起きるのでしょうか。それは、若者の特徴と社会

が生み出している問題とが交じり合って、デートDVに陥りやすくなっているからです。

◇若者の特徴

- ・愛をドラマチックに捉えがちである
- ・物事に急速にのめり込みやすい
- ・純粋でだまされやすく、支配されやすい——など

◇日常生活の中から生み出される意識・考え方

- ・力で人を支配することは、悪いことではないという意識
- ・愛情が伴えば暴力は許されるという意識、問題解決に暴力は許されるという意識
- ・男性は常に強くあり、女性を守るべきという意識

- ・嫉妬や束縛が愛情だと思い込む
- ・問題の解決手段として力で抑えても良いと思う
- ・「女らしい行動」「男らしい行動」を固定し、その枠に縛りつける
- ・男は「上」「強い側」にあり、相手を支配しても良いと思う
- など

デートDVに
つながる!!デートDV
を
防ぐためには

◇会話では

自分の気持ちを伝えるときは素直にきちんと伝え、相手の気持ちも尊重し話そう。自分にも相手にもうそをつかず、分かりやすく伝えよう。

◇付き合う上で

自分が相手を受け入れる許容範囲があるように、相手にも許容範囲があることを知ろう。

◇意識では

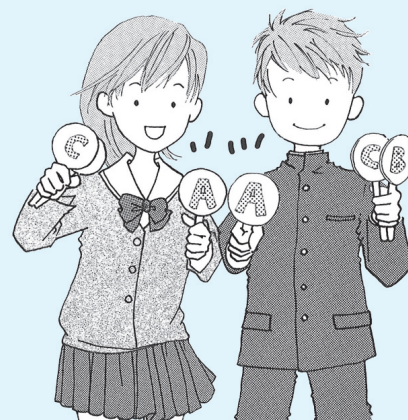
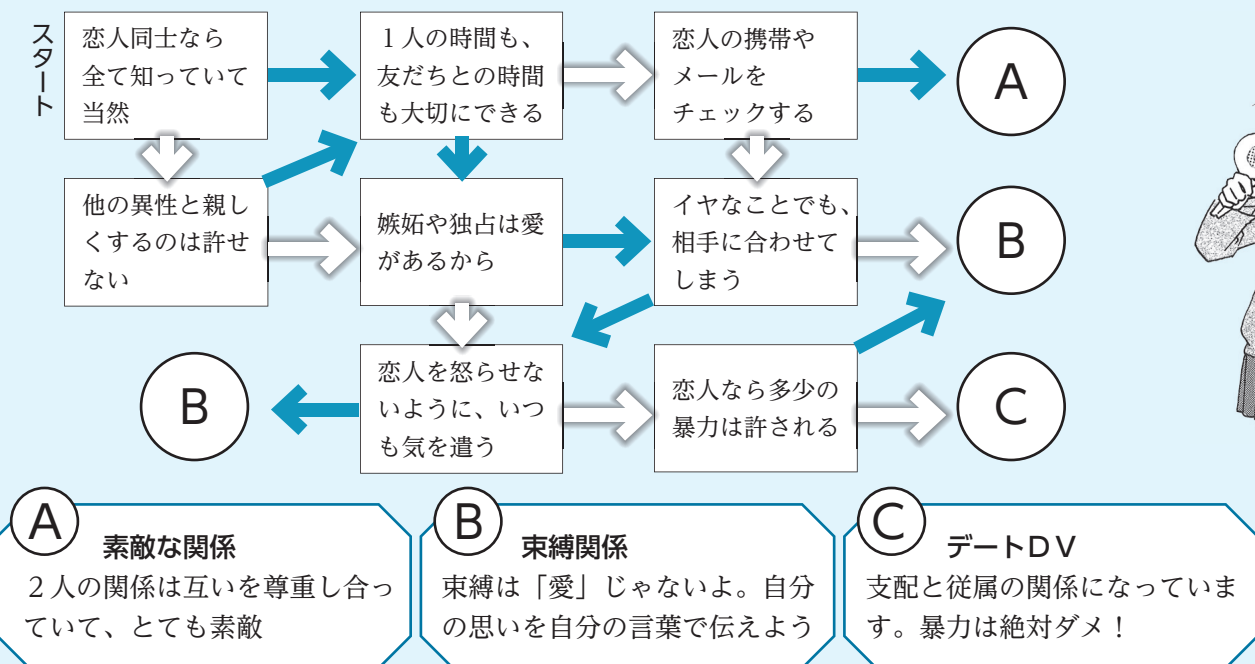
自分の良いところを知り、自分を大切に自信を持とう。

参考図書：伊田弘行著「デートDVと恋愛」、山口のり子著「デートDVをなくすために」

[あの・なはん 24.12.15]

■どんな付き合い方をしていますか？

チェックシート YES → NO → で進んでください。



©tatehana

チェックシートの結果はどうでしたか。素敵な関係になりましたか。BやCになった人は、冷静に考えて付き合い方を見直しましょう。

■高校生ボランティアスクールの参加者に聞きました

高校生は、交際相手や友だちとの付き合い方について、どのように考えているのでしょうか。8月8日に若園町の市総合福祉センターで開催された市社会福祉協議会主催の「高校生ボランティアスクール」の参加者180人にアンケートを実施しました。

アンケートの有効回答は119人で、その内訳は男子28人、女子91人です。

①交際は楽しい

半数以上の人に交際経験がありました。ほとんどの人が「交際は楽しい」「幸せ」とコメントしています。

交際経験がありますか？

回答	全体	男	女
ある	62人 (52%)	15人	47人
ない	57人 (48%)	13人	44人
計	119人	28人	91人

②意見を言い合える関係

「恋人や友だちと意見が合わなかったとき、自分の意見を言えますか」の問いに

は、全体の79%の人が「相手の意見を聞きつつ、自分の意見も言う」と答えています。交際相手や友だちとの付き合い方について、自分をしっかり持っている人が多いようです。

③人間関係は面倒

「恋人や友だち関係が面倒くさいと思ったときはありますか」の問いでは、全体の59%、男女別では男子50%、女子62%が「ある」と答えています。また、交際経験がない人のうち「交際をしてみたいですか」の問いには、61%が交際したくないと答えています。その理由は、「面倒くさい」「自分のことで精一杯」などがあり、人間関係のわずらわしさを避けたいと思う傾向もあるようです。

④女らしく 男らしく

「異性の前で女らしく、男らしくと意識して行動することがありますか」の問いで

は、「ある」が全体で26%、男子では43%、女子では21%でした。その理由として「男だから当然」「女だから」などのコメントがあり、ジェンダー*意識が見られました。

※ジェンダー

生物学的な性別ではなく、文化的・社会的につくられた性別をいいます。「男は一家の大黒柱だ」「女は家事をこなして一人前だ」といった、自分の意思と関係なく、社会生活での男女の固定的な役割分担の概念のもとになっています



「高校生ボランティアスクール」の様子

編集後記

今の高校生たちは、どのような思いで恋人や友だちと付き合い、接しているのかを知りたくて「高校生ボランティアスクール」でアンケートを実施しました。交際している、していないに関わらず、自分の意見をしっかり持っていることに感心しました。大半は異性の前でも「自分らしく」と答えていましたが、中には「男だから当然」「女だから」というジェンダー意識を持っている人もいました。デートDVの要因の1つに「男は強く、女を守るもの」「女はか弱く、男を支えるもの」といった、子どものころから教え込まれている固定的な役割分担意識があります。本来、男性も女性も対等・平等な立場にあることを認識し、互いに尊重し合うことが大事です。

デートDVに陥らないためには、相手にも自分にも素直で、率直な姿勢を持つことが大事です。そして、それぞれ考え方や見方が違うことを認識し、自分は自分であるという「自信」を持つことが大切ではないでしょうか。

[あの・なはん 24.12.15]

■デートDVの相談窓口

もりおか女性センター ☎604-3304
よりそいホットライン ☎0120-279-338 (24時間受け付け)
※いずれも相談は無料。秘密は固く守られます

■デートDV予防講座を開催してみませんか！

市は、デートDV予防講座の出前講座を行っています。

対象 おおむね10人以上のグループ
会場 市内（依頼者で準備をお願いします）
費用 無料

申し込み 中央公民館 ☎654-5366

※申し込みについて詳しくは、市公式ホームページ内、中央公民館「学びの循環推進事業 まちづくりコース」についてをご覧ください